

平成31年 第2回

小林市教育委員会

定例会

会 議 録

平成31年2月21日(木)

平成31年 第2回教育委員会定例会 会議録

- 1 日時 平成31年2月21日(木) 午後3時30分～
- 2 場所 小林市市民体育館 会議室
- 3 出席委員 中屋敷史生 大部菌智子 椎屋芳樹 槇光子 淵上定一郎
- 4 参与職員 山下康代 藤井寛史 松田和弘 深田利広
(調製職員) 川俣洋寿
- 5 説明職員
- 6 会議内容

開会 15:30

中屋敷教育長 それでは、始めさせていただきます。ただいまより平成31年2月14日付小林市教育委員会告示第2号で招集されました平成31年第2回小林市教育委員会定例会を始めたいと思います。よろしく申し上げます。

それでは、早速議事に入りたいと思います。

今回は、議案は1件ですので、よろしくお願ひしたいと思います。

それでは早速、議案第13号平成31年第1回市議会定例会(3月議会)の議決を経るべき議案の原案の決定について、お願ひしたいと思います。

山下教育部長 それでは、議案第13号3月議会の議案の決定についてご説明いたします。来週月曜日、2月25日から3月議会が開会されます。本日の議案の資料等については、議会前でございますので、取り扱いについてはご配慮いただきたいと思っております。

2ページをお開きください。

まず、当初予算から説明をさせていただきます。各課長に説明をさせます。学校教育課です。重点施策、31年度はどのような事業に力を入れるか。それから、前年度と増減の大きいものを説明させていただきたいと思っております。

2ページの特別支援教育事業費4,871万9,000円ですが、これにつきましては昨年度よりも縮小になっているんですけども、昨年度は特別支援員を30人配置しておりましたが、31年度は25人に減少したいと思っております。これにつきましては、今、一般財源で4,871万9,000円になっていますが、市長ヒアリングの後で市長から、ふるさと納

税を元金とした未来まち創生基金で充当するというので提示をもらったところでございます。

それから、地域ぐるみ安全体制整備事業費、これがゼロ円になっております。昨年度まで75万2,000円で予算を組んでいたんですけども、これはスクールガードリーダーとあって、2人の方に朝と夕と1時間ずつ学校付近の見回りをしていただいていたんですけども、これは地域の方とか学校やPTA、青少年育成会議の方などの見守りが十分にされていますので、スクールガードにつきましては31年度からは廃止にしたところでございます。

次に、次世代の学びを創造するICTプロジェクト事業費、これが2,092万4,000円なんですけれども、後でまた説明をいたしますが小・中学校にタブレットを本年度の12月補正予算で組ませていただいて、来年度、残りの小・中学校14校にタブレットを導入するというものでございます。これにつきましても、先ほどと同じように、ふるさと納税を元金とした未来まち創生基金を充当すると市長から言われております。

それから、子どもの悩みレスキュー事業費、これは縮小になっているんですけども、42万7,000円につきましては、県の補助金が来年度から付くようになりましたので、5分の3の県の補助金を活用しましたので、縮小になっておりますが体制的には変わりません。

次に、小林の未来を担うキャリア教育推進事業費、これにつきましては、キャリア教育支援センターがありますが、本年度と同じように31年度も力を入れてまいりたいと思っております。縮小になっているのは、モデル校の委託料があったんですけども、中学2年生を集めての講演会を31年度は行いませんので、縮小となっております。

それから、次世代の子どもを育む学校指導体制推進事業費、これが528万7,000円ですが、これは今年度の途中で認めていただいた部活動指導、サポートスタッフ、これも本年度と同じように31年度も続けてまいりたいと思っております。これにつきましても、県からの補助金、県支出金がいただけるようになりましたので、一般財源が減ったところでございます。

3ページになります。

小学校施設維持補修費（臨時）とありますが、これにつきましては少し拡大になっているんですけども、現在、長寿命化計画の策定に取り組んでいるところですが、これに伴いまして、建物劣化状況調査報告というのをしないといけません。その中で一級建築士による調査が必要になりました。市には一級建築士の職員がいるんですけども、業務的に難しいということで、委託料を256万5,000円を追加でこの部分に入れさせていたでいております。

それから、小学校副読本整備事業費ですが、これはこすもす科のテキスト、それから教師用手引、社会科副読本の改訂がございますので、517万2,000円の拡大になっております。

学校教育課については以上でございます。

松田社会教育課長 続きます、社会教育課です。

4ページからになります。

こちらの上から6段目、豊かな心を育む体験活動事業費とあります。こちらのほうが縮小となっているところなんですけれども、今年度、平成30年度にグローバルキッズ事業といたしまして、子供への体験事業等を実施しておりました。種子島宇宙センターへの視察を入れていたんですけども、天候等の不良により実施できない状況等がございました。平成31年度におきましては、空路やフェリー等を使わないような陸路で行けて天候に左右されない研修、視察等を実施するということも踏まえまして、金額が少し減ったところでございます。

ただグローバルキッズ事業におきましては、今まで参加費等につきましては無料のところがあったんですけども、参加費等を徴収して、しっかりと学習したい子供たちを集めての実施に変えていきたいと考えているところです。

続きます、そこから2段下にTENAMUビル公共スペース運営事業費とあります。今年度の事業費が、昨年度から360万程度減額しているところなんですけれども、こちらにつきましては平成30年度に調理機器の購入がございましたので、そちらの購入がないということで、ソフト事

業のみというところの縮小と委託料を若干見直しをしまして360万程度の減額となったところでございます。

続きまして、その下にあります国際交流事業費になります。こちらが324万円の減額となっておりますけれども、今現在、フランスからのメロン・リザさんがいらっしゃるんですけども、任期満了という形になります。7月までは社会教育課と一緒に事業を行っていくんですけども、8月から交代となります。そこから先につきましては、地方創生課に国際交流員を移管いたしまして、地方創生課で実施していくというような形になりました。そちらのところでは人件費等の減ということで324万円の減額になっているところです。

そして、その下にあります国際交流事業費（臨時）でございますが、こちらがその国際交流員の交代費用、渡航費用等の負担ということで計上をしているところでございます。

そして、今年度実施する部分の中で、図書館ではないんですけども、読書活動推進で移動図書館車の活用をもっと広げていこうということで、市内の幼稚園の巡回、そして遠方の小学校への出張等を図書館でも計画しているところでございます。

続きまして、5ページを見ていただきたいと思います。

こちらの上から3段目になります文化会館管理費の臨時でございます。こちらにつきましては、今回減額となっているところもありますが、文化会館で平成30年、大きな事業といたしまして、舞台の音響板等の設備改修等を実施したところでございます。平成31年度におきましては、雨漏り等がひどくなっておりまして、屋根の一部防水工事を実施するというところになっております。こちらは平成30年度の事業が大きくて減額という形にはなっておりますけれども、施設改修等を随時進めていきたいというふうになっているところです。

社会教育課の主な事業につきましては以上です。

深田スポーツ振興課長 スポーツ振興課です。

6ページになります。

まず、1番目のスポーツ振興一般管理事業費でございます。ここの部分に

つきましては、スポーツ推進委員さんに係る旅費が少なくなったということで、今年度につきましては沖縄で九州大会があったわけなんですけれども、今回、31年度につきましては鹿児島県で行われるということで、200万円ほど減額になっております。

4番目になります。スポーツ推進事業費の臨時でございます。事業費が800万円、増減額がプラスの524万5,000円ということで、ここにつきましては、今年の7月に小林で全国高等学校総合体育大会の女子バレーが行われます。その運営に係る部分の負担金等が増額になった関係で524万5,000円の増額となったところでございます。

中ほどに社会体育施設管理事業費の臨時でございます。プラス297万6,000円ということで、ここの部分は紙屋地区体育館及び三ヶ野山運動広場の浄化槽の修繕が必要になった関係で197万6,000円増額となっております。

下から5番目、小林学校給食センター管理事業費（臨時）でございます。ここにつきましては、緊急を要する備品購入の経費のみを計上いたしまして、なるべく修繕で対応していく方向で、今回1,212万8,000円の減額となったところでございます。

次に、野尻学校給食センター管理事業費（臨時）でございます。野尻学校給食センターに公用車が1台あるわけなんですけれども、走行距離、年数ともかなり超過しておりまして、どうしても公用車の更新が必要になった関係で163万4,000円の増額になったところでございます。

一番最後になります。てななど小林学校給食応援事業費でございます。平成28年から実施をいたしまして、丸3年を迎えた事業でございます。先般、アンケートを取ったんですけれども、保護者の方々には非常に満足というお声もいただいておりますので、31年度に向けましても同様の半額補助ということで、7,265万1,000円を計上したところでございます。以上です。

中屋敷教育長 ありがとうございます。

山下教育部長 よろしいですか。

7ページ、8ページにつきましては、須木分室と野尻分室になります。須

木分室、野尻分室は学校の振興配分用予算になりますので、大きく変化はないんですけれども、8ページの幼稚園運営管理事業費が41万8,000円で拡大になっています。これにつきましては、幼稚園の薬剤師の委嘱、それから遊具点検等をこれまでやっておりませんでしたので、遊具点検等に係る費用を上げていますので、少し増大になっております。当初予算については以上になります。

中屋敷教育長 ありがとうございます。
以上が説明ですけれども、何かご質問、ご意見等があれば出していただきたいと思います。

椎屋委員 細かいところはわかるんですが、教育費全体に対して、やはりマイナスシーリングがかかったと思うんですが、査定等を受けて、現実には全体的にどうなったんですか。

山下教育部長 学校教育の部分につきましては、重要施策の一つであると市全体で決まって、95%のシーリングでよかったんですけれども、実際は3ページの一番下にあるんですけれども、枠配分の額に対する要求額96.5%ぐらいになりました。社会教育課とスポーツ振興課については85%でしたので、かなり厳しい予算になりました。

椎屋委員 いずれにしても補正等でもついてくるでしょうけれども、当初予算ではしようなないと思います。

それと、スクールバス運行について、これは内山の部分が上がっているんですかね。2ページのスクールバス運行事業費374万8,000円。

川俣調製職員 これは内山地区の分になります。

椎屋委員 須木の分はどこに入ってきますかね。

川俣調製職員 7ページになります。

山下教育部長 7ページの事務局管理費の703万8,000円の中に入っております。

椎屋委員 この中に入っているわけですね。

山下教育部長 はい。

椎屋委員 鳥田町には子どもがいないことから、その運行についてはどうなったのか教えて下さい。

山下教育部長 今、スクールバス2台で行っているんですけれども、鳥田町が来年度から

2人になるということなので、須木の公用車で送迎をすることに決まりました。

椎屋委員 やっぱり運転手は、奈佐木と鳥田町と2人いるということですね。

山下教育部長 はい。やはり運転手がもし交代になったときがいけないので、やはり大型バスの免許を持っている方の臨職職員の採用を行ったところですよ。

中屋敷教育長 よろしいですか。ほかにありますでしょうか。

大部菌教育長職務代理者 2ページの学校教育課の中の特別支援教育事業費は、先ほど説明があったように減額ですが、これは人数が前年より減るということですよ。30人から25人。新しく入学する今度の1年生の中に支援が要るような子供さんがいるんじゃないかなと思うんですけども。見ていると支援の要る子供たちが増えているように思っているんですけども、ここで減らしても十分対応できるような数になっているんでしょうか。

山下教育部長 学校から特別支援員を何人配置してということで要望をとるんですけども、31年度に関しては37名の要望が全体であったところですよ。その中で、担当の職員が学校に行って状況を見たり、今度の新入学児の子供たちの状況を加味して、学校側と協議も行い、今年度配置は25名配置ということにしております。

昨年度は、43名の要望が学校から上がってきたんですが、そこで30名の配置をしたんですけども、今年度、31年度は37名の中で25名ということにしております。

大部菌教育長職務代理者 減っているんですね。

中屋敷教育長 学校から要望があったのを全て入れるということではなくて、学校教育課で見に行って、ここは必要だということに配置していく流れでやっていますので、その人数で今回は大丈夫という判断でやっています。

小林市は就学前、保育園とか幼稚園の関係の先生たちも特別な支援が必要な子供に対するかかわり方とか考え方がよく浸透しているものですから、幼保小連携というものもありますので、すごく意識が高いので、本当に必要な子が上がってきたりするんですけども限度がありますから、こちらのほうではより高い順からやっていくということでもあります。ただ多いほどいいにこしたことはないんですけども、やっぱり財源的なものもありま

すので、今のところで提示をしていったというのが実情であります。確かに増える傾向はあります。少子化ですけれども、特別な支援が必要な子は増えているということでもあります。

他はよろしいでしょうか。

社会教育課の確認ですけれども、囲碁将棋大会の廃止等による経費削減というのがあります。国民文化祭を小林に持ってくる中に将棋があったと思います。私はそれが国民文化祭を契機に将棋のまちにもなってもいいなという思いがあったりして、TENAMUでそういう県大会がずっとあるというイメージをしているんですけれども、そのあたりは交流しながらも縮小したということよろしいですか。

松田社会教育課長 こちらの文化祭で実施します囲碁将棋大会ですが、囲碁大会が商業高校跡地のところで実施していました。併せて、将棋大会については隣の中央公民館で実施したところ。それぞれ市の協会のほうで実施したんですけれども、囲碁協会については、今回お願いをしたところ、市からお願いされて私たちはやっていると言われ、自分たちで自主的にやりたいというような形ではなかったところ。

将棋につきましては、こちらの中央公民館で実施していただいたんですけれども、補助金等を渡していたんですが、その辺の運営のところで補助金を渡していた分を減額したところ、その費用が減額になったところ。ただ将棋大会については、来年度の文化祭でも実施はしようと思っているところ。

先ほどありました国民文化祭のところですが、ここは県の将棋連盟のほうから打診がありまして、国民文化祭で大々的にできないかと。県の部分というところもありましたので、こちらにつきましても、もちろん市の協会とも連携を図りながら、国民文化祭では大々的に将棋の大会等を実施したいというふうに考えているところ。

中屋敷教育長 わかりました。

国民文化祭はオリンピックの次の年ですか。

松田社会教育課長 再来年ですね。一緒です。

中屋敷教育長 一緒にするんですか。

あと、将棋のほかにもどのようなのが来ていますか。

松田社会教育課長 国民文化祭については、今確認しているのは郷土芸能の部分をメインにやっっていこうというところで、郷土芸能の部分のフェスティバル等であったり、あと福祉関係とも連携して、いろんな福祉の部分での文化祭というようなところも考えているところです。教育の部分だけでなく、福祉であったり、そういったところと連携して、また、小林だけでなく、えびの、高原と連携して、福祉の部分については同時に開催するという形で計画をしているところです。

今回、全体的な資料を持ってきておりませんが、いろんな計画、案がかなり出ていますので、そういったところを今から実行委員会で話し合っ、実施事業等を進めていきたいと思っているところです。

中屋敷教育長 ありがとうございます。

今年が南九州インターハイで今、工事をやって、7月に南九州インターハイが行われます。オリンピックイヤーの時に、今言った国民文化祭がまた小林で、今言った県の将棋連盟がこちらに打診しているところがすごいなと思っています。今、風がすごく吹いているところを小林にお願いするというのは、これも大事にしたいと思います。それが終わって、2026年の国体。今、バレーボールとウエートリフティングが小林は会場が決まっています、もう一つ、トランポリンができればトランポリンもというところで、スポーツ振興課が動いているところなんです。つまり、いろんな大きな行事に小林が絡んでいるというところを理解していただきたかったというのもあって質問をしたところですけども、お聞きのとおりです。

あとはよろしいでしょうか。

椎屋委員 社会教育課によろしいですか。

社会教育課の上から3つ目の団体補助金の見直し、成人式費用の減額で1,171万9,000円の減、これの中身は大きいのでどんなことですか。

松田社会教育課長 こちらの社会教育振興事業費につきまして、減額の部分が大きいところが、こちらの下から3段目のほうに生涯学習推進事業費というところがありますが、そちらにありました社会教育指導員等の賃金などをこちらに移したところがございます。その分で大きくなったところです。

今ありました団体補助金の見直し、これは補正なんかでも出てくるんですけども、青年団のほうの事業補助金が現状30万程度あったところです。この青年団につきましては、また補正のところでもお話しさせていただきたいんですけども、活動が停滞しているというようなところもあって、次年度につきましては青年団に特化しなくて、地域でいろんな青年活動というような広い意味での部分での見直しをしていったほうがいいんじゃないかというようなところで、減額をさせていただいたところです。

成人式費用の削減というのが、かかる消耗品等を減額させていただいて、成人式費用を削減したというようなところでございます。

大きなところは、社会教育指導員の人件費を生涯学習事業費のほうに移したところでございました。

椎屋委員 各種団体の補助金をカットするということになると、活動がまた低迷してしまうと思ったものですから質問しました。

それともう一つ、小林小学校の防火壁、石積みだと思うんですが、あれは結局どういう整備の仕方になったんですか。

松田社会教育課長 こちらにつきましては、もちろん撤去というような形になっております。実際こういった施設の防火壁というのが市の中心部にはずっとあったような施設であります。それは小林の史談会の方からはやはり重要な文化財ですよというところもありましたので、こちらに計上しているのがこういった施設がありましたというような案内板ですか、こういった防火壁があって、市内の各地に防火壁ができていたんですよというような案内板をつくらうというところで、今計画をしているところです。

椎屋委員 あの石自体はどうするのか。

松田社会教育課長 撤去という形です。

椎屋委員 撤去。売買というような話もありましたので、あのまどこかへ持って行って処分するということになるのか。そこだけ疑問だったので慎重に検討してください。

松田社会教育課長 はい。あそこのものにつきましては、民有地の上田病院さんのところなんかは別のところに設置してつくったりしていますので、そういったところもいろいろお知恵をいただきながらと思っております。

椎屋委員 後々、あれはどうなったのかというのは必ず来そうな気がしたものですから、よろしくをお願いします。

山下教育部長 今現状としては、家屋調査士の人に委託しまして、ブロック塀のある境が地籍調査がまだ終わっていない為、立ち会いをしてもらってということをして3月いっぱいまでに終わって、来年度補正予算で計上していくという形にしています。

9ページをお願いします。

今度は30年度の補正予算になります。

学校教育課の補正になります。

真ん中の予算要求額というところに三角の印がありますが、これについては減額の補正であります。減額の理由といたしましては、当初見込みの減や入札をした入札残がありましたので減額するものでございます。

真ん中より1段下の小学校就学援助事業費、これは157万8,000円の増額の補正ですけれども、これにつきましては、要保護児童の修学旅行費や準要保護児童の給食費、学用品費の扶助費、それから特別支援の給食費、学用品費等の扶助費の見込みが当初より多くなったため、少し不足ということで、今回補正を出させていただきました。

学校教育課は以上です。

松田社会教育課長 続きまして、10ページをご覧いただきたいと思います。

社会教育課でございます。

こちらが一番上なんですけれども、社会教育振興事業費マイナス18万ということになります。こちらが先ほど言いました青年団補助の減額でございます。こちらにつきましては、今年度の青年団が総会等も開かれず、活動が停滞していたところでございます。青年団につきましては、宮崎県青年団の登録費とかの支払い等もあるというところもございまして、今回12万を残して18万の減額という形でございます。

ただ事業を実施したいということで、3月に文化会館の小ホール等を借り切って、子供向けの映画祭をしたいということでした。やはり子供たちとのかかわりを「ぞうれっしゃ」をメインにしてやっていた部分もあって、そういった子供との連携で、昨年、買っておりましたぞうれっしゃのDV

Dが2時間程度あるんですけども、そちらの上映会を子供たちを呼んでやりたいというところでもございました。次年度もさまざまところで、青年団の部分につきましては活動をいろいろ検討していきたいというふうに思っているところです。

続きまして、文化財保存活用事業費のマイナス26万3,000円なんですけれども、こちらにつきましては臨職の欠員による減額でございます。

続きまして、社会教育管理費の11万8,000円なんですけれども、こちらにつきましては、小林秀峰高校の機械部が全国高等学校ロボット競技会に行きました全国大会への負担金になっております。こちらのほうで増額というところもございます。

あと、TENAMUビルにつきましては電気料の減額、文化振興事業費の102万円につきましては、文化会館の自主事業の入札残等に伴いまして減額という形でございます。

集会所運営管理費の21万6,000円につきましては、永田町教育集会所のトイレ改修工事の入札残というところなんです。

最後の発掘調査事業費の部分につきましては、試掘等の調査がないというところで261万2,000円の減額となっているところです。

社会教育課につきましては以上です。

深田スポーツ振興課長 11ページです。

スポーツ振興課ですが、今回増額の93万8,000円を計上いたしました。ここにつきましては、高等学校全国大会の出場に係る市町村負担金の部分になります。今回は、小林秀峰高校のウエートリフティング部、秀峰高校の男女ハンドボール部等が、夏行われました東海インターハイに出場したときの出場負担金になります。

スポーツ振興課は以上です。よろしく申し上げます。

中屋敷教育長 3月補正についての説明がありましたけれども、ご質問とかありますでしょうか。

補正関係でご質問等ありますでしょうか。

川俣調製職員 3月議会の提案で1件追加ありますので、別冊で議会の議案35号と書いたものがありますのでお願いします。

中屋敷教育長 追加の財産の取得について説明をお願いします。

山下教育部長 今回の議会で、財産の取得について議案を上げております。これにつきましては、財産の取得または処分について、1件2,000万円以上のものについては議決の必要があります。今回タブレットを購入するんですけども、2,376万円になっておりますので2,000万円以上ということで議会にかけるものでございます。

指名競争入札をいたしまして仮契約まで済んでおります。相手方は富士電機ITソリューション株式会社宮崎支店になります。

15ページになりますが、仮契約を今結んでおります。仮契約の中で、納入期限が6月7日というふうになっております。

16ページの契約書の効力ということで第7条にあります。「この契約書は、小林市議会の議決を得たときに本契約書として効力を生ずるものとする」ということなので、議決をいただいたときがこの契約が本契約ということで上げたいと思っております。

それから、18ページをご覧ください。

議会の議案第36号になるんですけども、教育委員会の委員任命についてということで、市長から議案が出されております。大部菌委員の任期が平成31年6月15日までとなっております。その後の委員ということで、引き続き市長は大部菌委員にお願いしたいということで、6月議会では間に合いませんので、3月議会に市長が提案されております。以上です。

中屋敷教育長 大部菌委員、頑張ってください。お聞きのとおりですが、大部菌委員が継続してお引き受けいただけるということで議案として上がるということで、議決されたときにはまたよろしくお願ひしたいと思ひます。

よろしいですか。(はい)

ご意見等がないようですので、議案第13号平成31年第1回市議会定例会(3月議会)の議決を経るべき議案の原案の決定をしてよろしいでしょうか。(はい)

それでは、原案どおり承認されました。

中屋敷教育長 それでは、次回開催予定について説明をお願いします。

川俣調製職員 次回開催なんですけれども、平成31年3月14日木曜日午後4時から、

市役所の2階の第1会議室で臨時の教育委員会をお願いしたいと考えております。その次の週が3月19日火曜日午後3時30分から、同じく市役所の2階の第2会議室で定例会をお願いしたいと思っております。よろしくお願いたします。以上です。

中屋敷教育長 それでは、今回の定例教育委員会を終わりたいと思います。お疲れさまでした。

閉会 16:50

教育長

教育長職務代理者

委員

委員

委員

調製職員
